

令和3年7月2日



1 学期中間テストが終わりました。初めて受験した 1 年生では緊張した様子も
うかがえましたが、どの学年でも一生懸命に問題に取り組んでいました。お子様の
様子はいかがでしたでしょうか。テスト後には、結果だけに一喜一憂せず、できな
かった問題はきちんと振り返りを行い、できる問題を少しずつ増やしていくことが大切だとご助言ください。
学校では、改善につながるように、主体的・計画的に学習していけることを指導しています。来週(7月14日)に
は実力テストが実施されます。時間配分や受け方も意識するよう示していきたいと考えています。

【全国学力・学習状況調査およびとちぎっ子学習状況調査】

5月27日に全国学力(3年生)、とちぎっ子(2年生)を実施しました。本校の昨年度のとちぎっ子学習状況調査(現3年生)における質問調査での課題は、県や市の平均と比べて「学習時間・読書時間が少ない」というものでした。反面、「テレビ・ゲーム・SNS等の時間が多い」ため、睡眠時間は短いと考えられる結果になっています。今年度の結果は8月頃を予定していますので、改善につながるよう今後も指導・助言をしていきたいと考えます。また、栃木県では県のホームページにおいて

[ホーム](#) > [教育・文化](#) > [学校教育](#) > [学習指導・学力向上](#) > [学力向上について【学力向上推進室】](#)に保護者用リーフレット(家庭でできる学力アッププロジェクト)がアップされています。

年度ごとの内容は次の通りです。

R3年度「子供のよさに気づき、ほめていますか？」

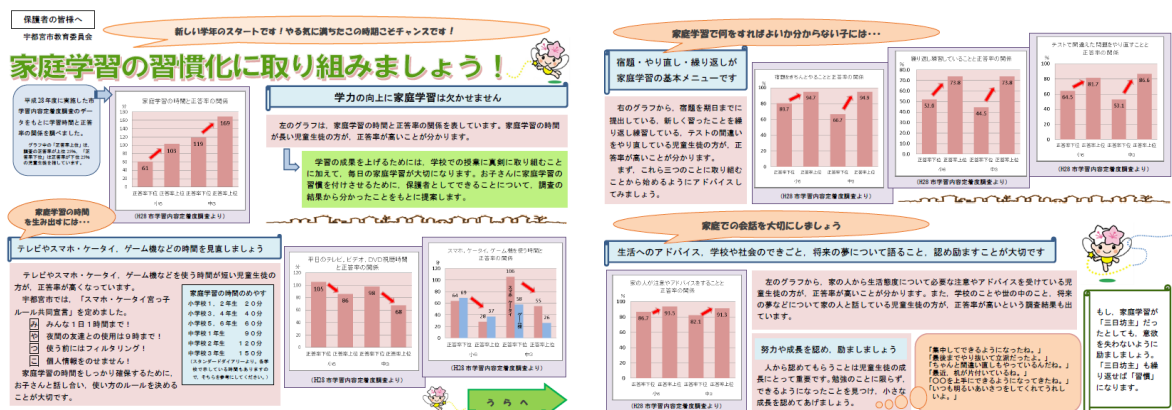
R2年度「学力を伸ばす 7つの習慣」学力と家庭での過ごし方の関係

H31, 30, 29, 28 年度「学力を伸ばす7つの習慣」 自主学習や生活のリズム

H27 年度「復習は効果的です！」

H26 年度「時間を上手に使う意識を育てましょう」

ぜひ、参考にしてみてください。また、宇都宮市の教育委員会でも下記のような資料等があります。



【授業の重要性】

※1

すべての学習活動や課題にも「自分から(主体的に)」という意識で臨むことが大切です。そして「予習」⇒「授業」⇒「復習」⇒「振り返り(テスト)」のサイクルの中で最も重要なのは「授業」です。

しかし、生徒が板書を写し、問題を解くという、受け身の状態では期待される授業の効果は上がりません。板書だけを書いたノートを見返して授業の内容を思い出せるでしょうか。口頭でしか伝えないことの中にも必要な内容がでてくることがあります。

また、人は単純な記憶の場合、1度覚えても次の日には7割忘れてしまうといえます。



学んだことを定着させるためにはノートや教科書を見返し、授業の内容を詳細に思い出すことが必要となります。

※1 様々な手段や工夫よりも大切なことは、興味や関心と言われます。陽南中学校では、興味や関心を高めるために、ICT(特にタブレット)を活用した授業を意欲的に取り入れています。

『参考』

【授業の内容を思い出しやすい授業の受け方】

①授業中に覚える工夫

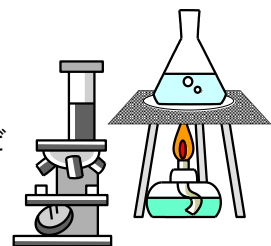
板書を写しているだけよりも、音読や英語の発音練習など声を出す活動ではきちんと声を出して活動する。

②復習しやすいノート作り

ノートの左側は「板書」、ノートの右側のページは、「ひたすら先生の言っていることをメモする」「メモに文字だけでなく図を用いて工夫する」「to do リストを作る」「自分が気になったこと・興味を持ったことについて調べてみる」「間違い直し」。または別冊(間違い直し、自主学習用)を作るなど。

③集団の利をいかす

「自分の考えを伝える・発表する。」「友達意見を聞く・理解する。」
「さまざまな考えから、自身の考えを深めたり、違う視点を取り入れたりする。」など



④主体的に考える

「ノートのとり方」や「効率的な勉強法」には「誰にでも合う」というものではありません。様々な例にとらわれることなく、考えて工夫することで成功につながるがあると思います。

それぞれに工夫し、「どうすれば今よりも授業時間を活用できるか」を自分自身が主体となって考え、実践し、再考する姿勢が大切です。陽南中学校では、今年度、生徒会と話し合いながら、持ち帰る教材について検討しています。家庭学習(宿題や自主学習など)に必要な教科書等を考えて持ち帰ろうという取組です。慣れるまではご家庭でも声掛けなどご協力をお願いいたします。